

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川流速の力学的内外挿法(DIEX法)に基づく流速・流量・粗度推定手法の構築(研究期間: H22年~H23年)	東京理科大学 二瓶 泰雄	A
<研究概要> 元々、横断面内の「線」流速データの内外挿法として構築された力学的内外挿法(DIEX法)を、浮子や電波流速計等の「点」流速データ用に適用可能な数値アルゴリズムを開発・導入した。それより、浮子投下本数が少ないケースでも、本手法は従来法(区分求積法)よりも流量推定精度を大幅に向上させることを示した。また、本手法に風速影響を反映し、電波流速計の表面流速データから精度良く流量を算定し得ることが示された。		
<事後評価コメント> 本研究では、浮子観測などの「点」流速データやH-ADCPなどの「線」流速データから、「面」流速データに内外挿する技術を提案しており、現行の流速計測手法を補完する可能性を示している。以上から、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、断面や流れ構造による系統的な誤差論など、誤差の中身についても検討を深められることを期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い